

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)ザ・ビッグ米子淀江店 新築	階数	地上1F		
建設地	鳥取県米子市淀江町中間字西外浜	構造	S造		
用途地域	区域区分非設定、下水道処理区域	平均居住人員	885 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)		
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2021年12月17日		
敷地面積	11,959.54 m ²	作成者	(株)加藤建築事務所 長宗洋志		
建築面積	4,606.79 m ²	確認日	2021年12月17日		
延床面積	4,551.40 m ²	確認者	(株)加藤建築事務所 長宗洋志		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Q のスコア = 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.6</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 地域生活に貢献できるよう周辺地域に馴染んだ店舗設計。不特定多数の方が利用する施設であるため、安全に配慮した設計を目指している。</p>		<p>その他 ディスカウントストアのイメージを確保するため、ローコスト追及し、単色仕上・素材を採用し、金属的な光沢のある素材や、意匠性の高い建材を使用せず、シンプルになるよう計画しています。</p>
<p>Q1 室内環境 化学汚染物質の低減や、全面禁煙とするなど、店舗運営に関しての必要最低限での計画としている。</p>	<p>Q2 サービス性能 原則として、バリアフリー新法の利用円滑化誘導基準を満足する建物とし、店舗の天井高さを高くとりゆとりある計画としている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に出来るだけ緑地を設け、敷地内緑地帯の配置及び壁面緑化による景観緑化に努めている。</p>
<p>LR1 エネルギー スーパーマーケットという消費電力の大きい施設となるが、極力消費電力を抑える工夫を行う(LED電球、高効率(Hf)蛍光灯。冷凍ケース、冷蔵庫はエココイル(気化冷却式凝縮器)の採用を予定する。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 食品販売を行うにあたり、各部門(農産、水産、畜産、惣菜、パン)がそれぞれ作業場を持ち、水の使用量も多くなるため、節水に努める。</p>	<p>LR3 敷地外環境 屋外駐車場であるため、外部照明を要する。近隣への影響を考慮し、来客の支障とならない範囲で極力照度を落とす。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される